

愛知県生協連 防災委員会（平成28年度）

防災委員会
平成28年7月6日(水)
名古屋大学減災館

減災館
Disaster Mitigation Research Building

名古屋大学
減災連携研究センター
Disaster Mitigation Research Center
Nagoya University

名古屋大学
災害対策室
Disaster Management Office
Nagoya University

大規模災害発生への備えとして愛知県生協連に
委員会を設置(会員33生協に各1名)



I 講義 「内陸直下型地震・熊本地震に学ぶ」 曾根好徳教授

全国地震動予測地図



主要活断層帯の長期評価



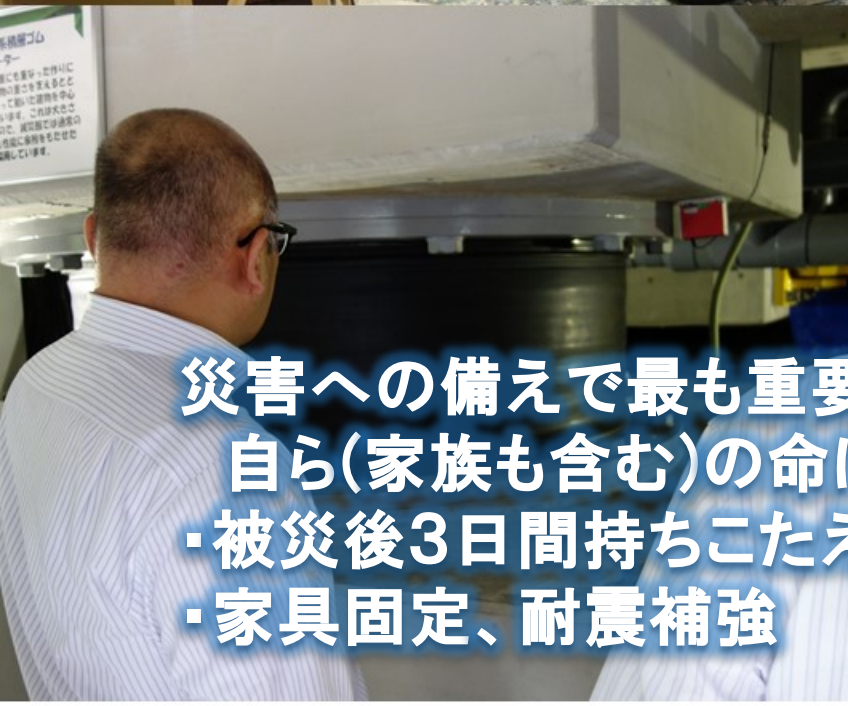
本日、お伝えしたいこと！

- 熊本地震に学ぶ→内陸直下型地震の脅威。
- 日本列島には活断層がほぼ万遍なく分布→歴史的に地震の活動期であり、どこでも地震が起こり得る。備える。
- 海溝型巨大地震では余震・誘発地震が多発→東北地方太平洋沖地震を例に示す
- 迫りくる南海トラフ巨大地震では→海溝型巨大地震であり、余震・誘発地震が多発→震源域が内陸域まで及ぶ→近畿中部エリアは活断層が密に分布→本震後の余震・誘発地震への警戒が必要。東海エリアは特に、熊本地震に学び+備える！
- 備え：短期的（近々に）→耐震化+家具固定+備蓄。中長期的（足元のリスク認識）→移転+短期的と同様の備え。

日本列島は風光明媚で恵み豊かな国、しかし脆弱・災害列島でもある。日本列島は歴史的に地震活動期に入った。熊本地震のような内陸直下型地震が全国どこでも起こりうる可能性がある

Ⅱ 研修

減災館の大震設備見学と南海トラフ地震による被害予測
福和信夫教授(センター長)



災害への備えで最も重要なのは「自助」努力
自ら(家族も含む)の命は自らが守ること、または備える
・被災後3日間持ちこたえる
・家具固定、耐震補強

Ⅲ 防災委員会(2階災害対策本部1室)

報告・協議議題

- ◇防災委員会規則について
- ◇防災幹事会運営要領について
- ◇防災活動平成27年度まとめと平成28年度活動計画(案)について
- ◇平成28年度防災委員登録名簿、幹事会委員について
- ◇平成28年度愛知県・岡崎市 総合防災訓練について
- ◇愛知県との災害用緊急物資調達マニュアルについて

